

MSView マニュアル

注意：本マニュアルは、制作途中の暫定版である事をお断りしておきます。

最終更新日 2010年7月20日

KiRYU

株式会社 桐 生

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-14-9 銀座スワロービル 9F

TEL : 03-5250-2007 FAX : 03-5250-1979

E-mail : info@kiryu-ginza.com

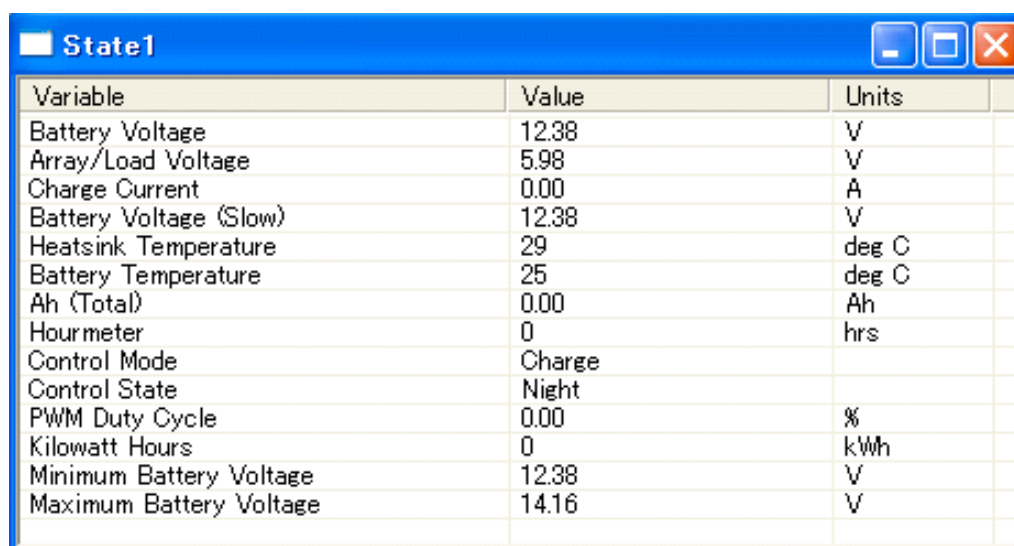
<http://www.kiryu-ginza.com/>

MSView の概要

MSView は、モーニングスター社の PC用 ソフトウェアで、下記のモーニングスター社の製品とシリアル接続することにより PC の画面上に、バッテリー電圧・充／放電電流・温度・積算電力／時間・ログデータなど多くのデータをリアルタイムに表示します。

○対応機種

SunSaver MPPT
SunSaver Duo
SureSine 300
TriStar
TriStar MPPT
Relay Driver



Variable	Value	Units
Battery Voltage	12.38	V
Array/Load Voltage	5.98	V
Charge Current	0.00	A
Battery Voltage (Slow)	12.38	V
Heatsink Temperature	29	deg C
Battery Temperature	25	deg C
Ah (Total)	0.00	Ah
Hourmeter	0	hrs
Control Mode	Charge	
Control State	Night	
PWM Duty Cycle	0.00	%
Kilowatt Hours	0	kWh
Minimum Battery Voltage	12.38	V
Maximum Battery Voltage	14.16	V

MSView の表示例 (TriStar)

○各機種との接続方法

●SunSaver MPPT・SunSaver Duo・SureSine 300

Dsub-9P RS232C ケーブル+MSC アダプタ
+RJ-11-6P ケーブル

●TriStar・TriStar MPPT・Relay Driver

Dsub-9P RS232C ケーブル

◇上記いずれも USB→シリアル 変換アダプタの使用により

PC 側 USB 接続が可能。

MSView のインストール

MSView PC ソフトウェアは下記の、モーニングスター社のウェブサイトにて無料でダウンロードできます。

<http://www.morningstarcorp.com/en/support/item.cfm?ItemId=400>

○MSView のインストール

ダウンロードすると MSView v1 というフォルダが出来ます。
その中の MSView.exe をダブルクリックすればソフトが起動します。

パソコンとの接続

○RS-232C 接続

◇TriStar・TriStar MPPT・Relay Driver の場合

RS-232C ストレートケーブル (D-sub 9P) を使用します。

◇SunSaver MPPT・SunSaver Duo・SureSine 300 の場合

RS-232C ストレートケーブル+MSC アダプタ+RJ-11 (6P)

ケーブルを使用します。

MSC アダプタは、弊社にて取り扱っています。

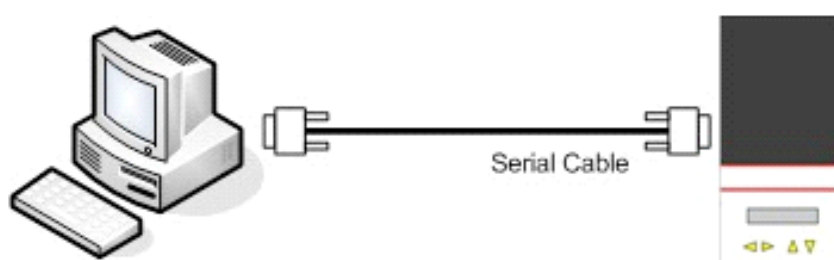


図1 TriStar・Relay Driver の接続

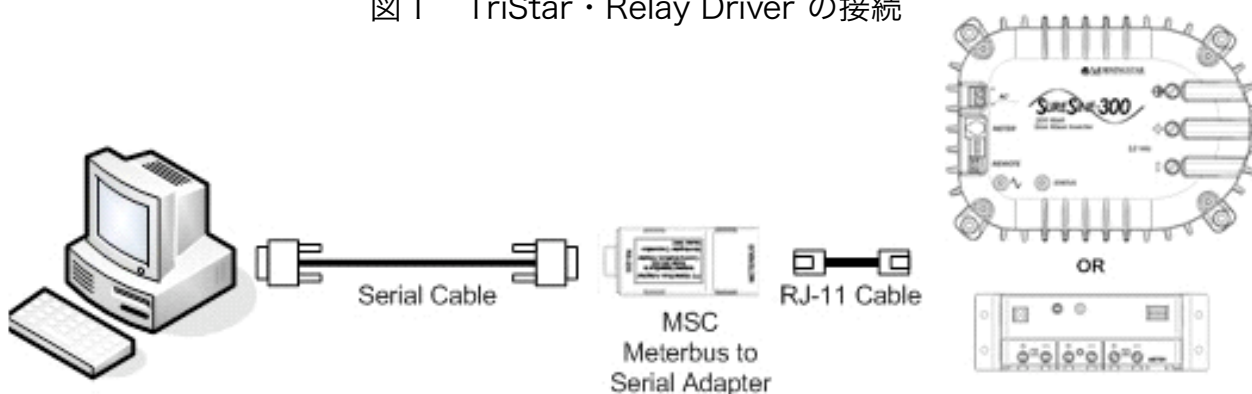


図2 上記以外の接続

○USB 接続

上記 RS-232C 接続ケーブルの他に USB→シリアル 変換アダプタが必要になります。(パソコンショップ・家電店などで購入出来ます。)

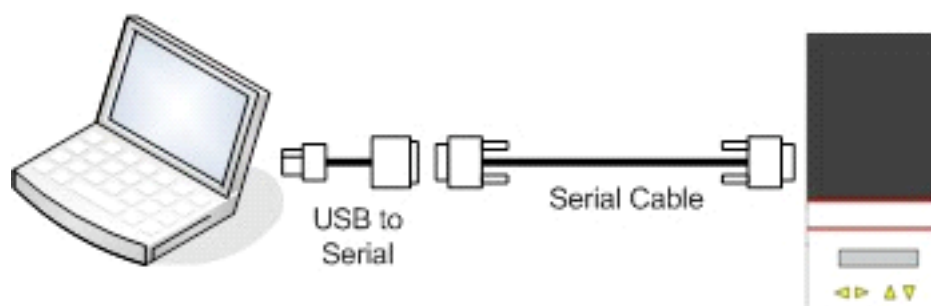


図3 USB 接続

パソコンのセットアップ

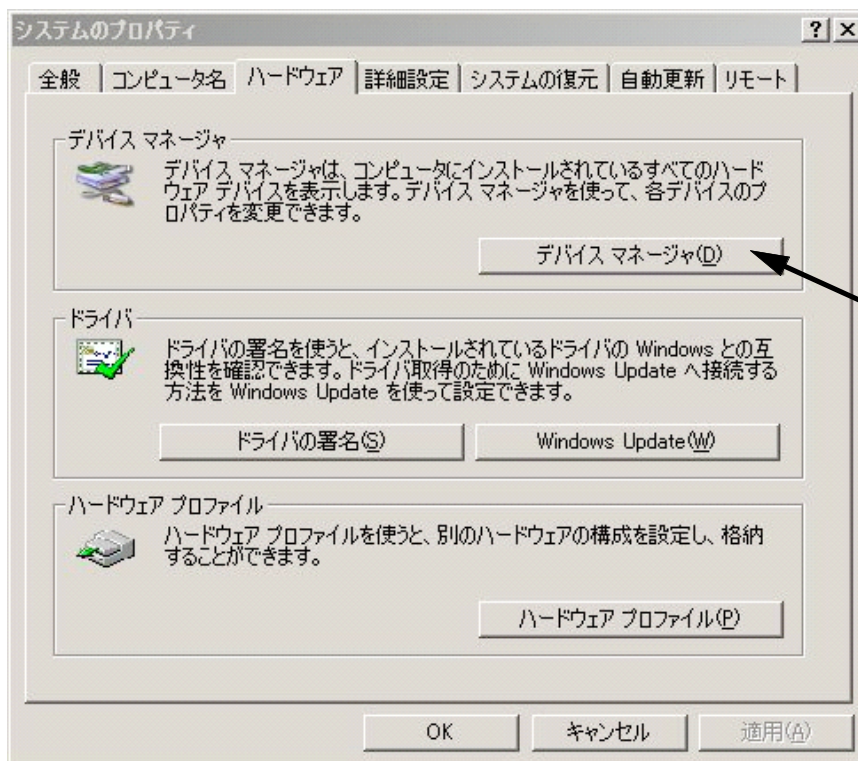
○PC と USB 接続する場合は、USB→シリアル変換アダプタをご購入して頂く必要があります。

○変換アダプタのドライバのインストール

1. 変換アダプタに付属のCD-ROMなどからマニュアルに従いドライバをインストールします。
2. パソコンを再起動します。

○COMポートナンバーの確認

1. パソコンと対象機種を規定の方法で接続します。
2. パソコンのマイコンピュータを右クリックし、システムのプロパティを選択。ハードウェアを選択し、デバイスマネージャ・ボタンをクリックします。



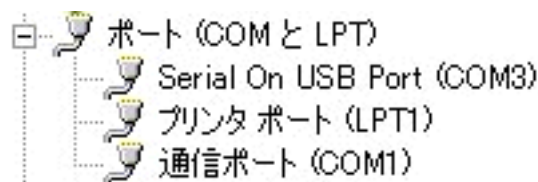
3. ポート (COMと LPT) を開きます。

●USB接続の場合

Serial On USB Port (COM#) のナンバーをメモしておきます。

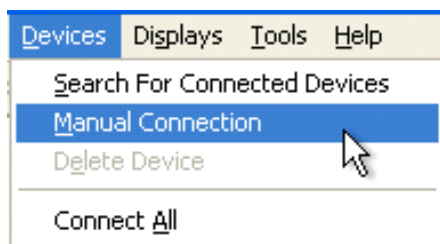
●RS232C 接続の場合

通信ポート (COM#) のナンバーをメモしておきます。

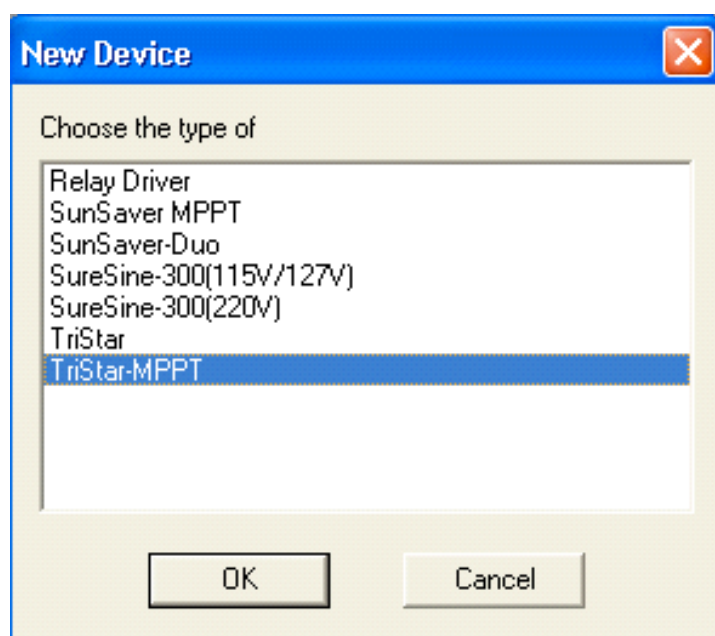


MSView ソフトの使用 1

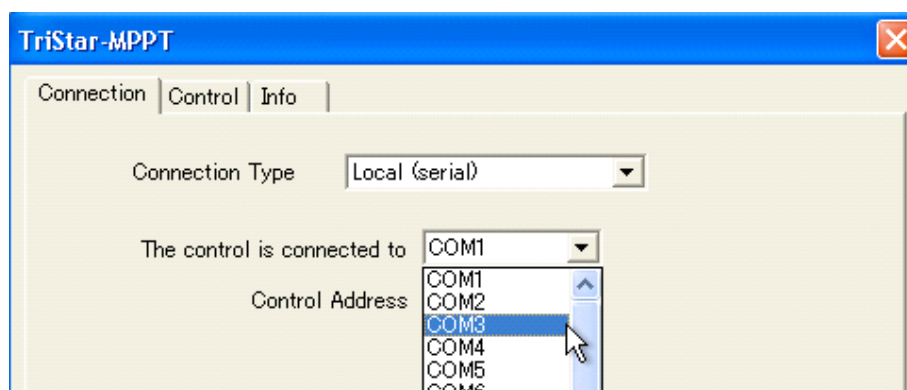
1. MSView ソフトを起動します。
2. Devices メニューの Manual Connection を選択。



3. New Device ウィンドウから対象機種を選択し、OK をクリック。

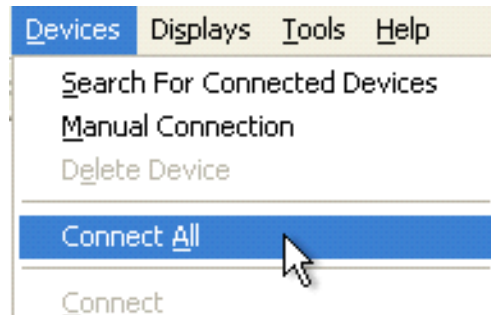


4. 表示されたウィンドウの The control is connected to の COM# ナンバーを一致させ OK をクリックします。

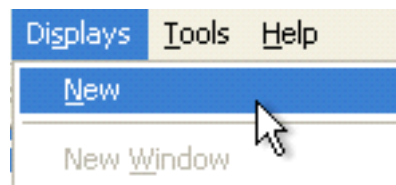


MSView ソフトの使用 2

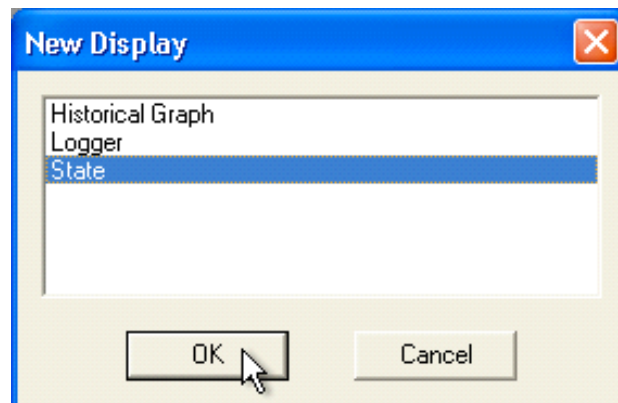
5. Devices メニューの Connect All を選択。



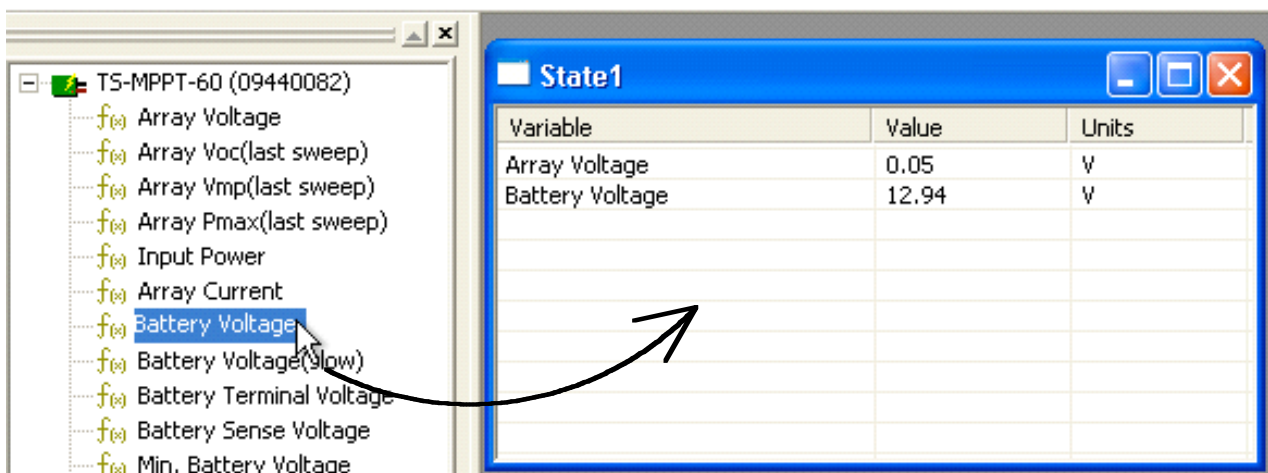
6. Display メニューの New を選択。



7. New Display ウィンドウが開きます。
使用する機能を選択し OK ボタンをクリックします。



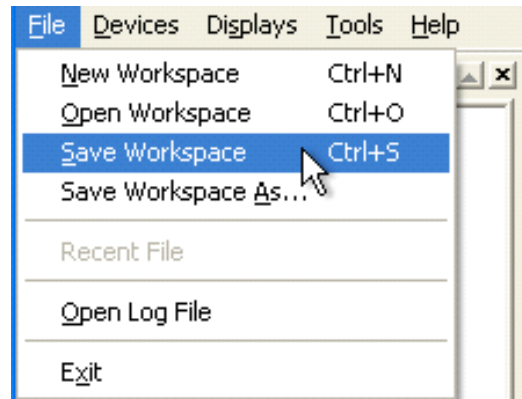
8. State ウィンドウが開きます。
左の表示したい項目を State ウィンドウヘドラッグします。



MSView ソフトの使用 3

9. Workspace の保存

File メニューの Save Workspace (As...) を選択しダイアログに従い保存します。



10. 終了

File メニューの Exit にて終了します。

11. 再開

MSView を起動します。

File メニューの workspace1.msv を選択します。

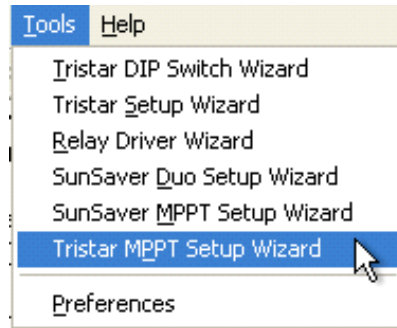
Devices メニューの Connect All を選択します。

Setup Wizard の使用 1

1 2. Setup Wizard の設定

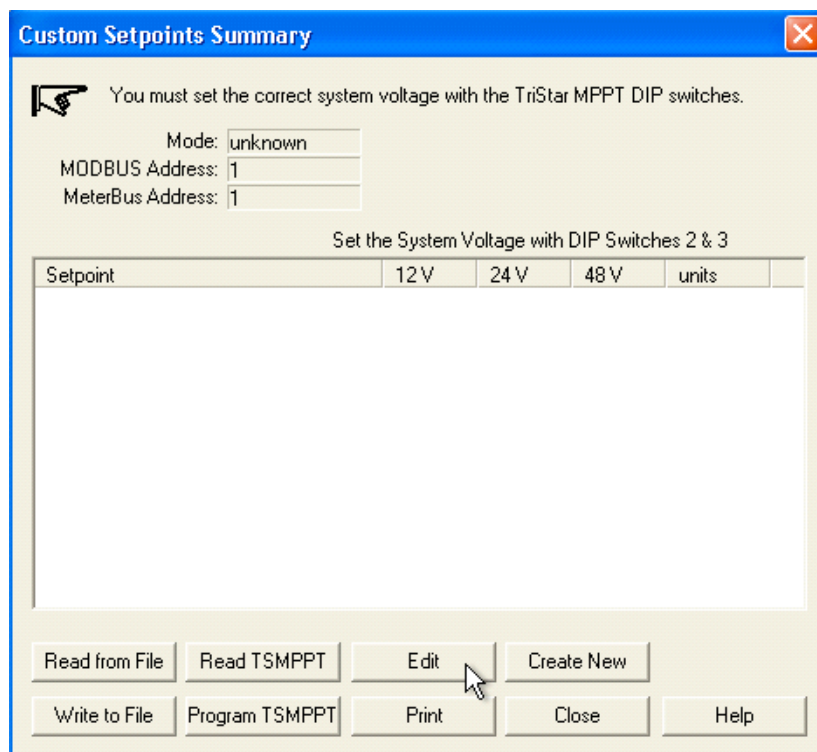
以下の設定は、工場出荷時に機器に組み込まれた設定を変更することになるので、十分な注意が必要です。

Tools メニューの対象機種 of Setup Wizard. を選択します。



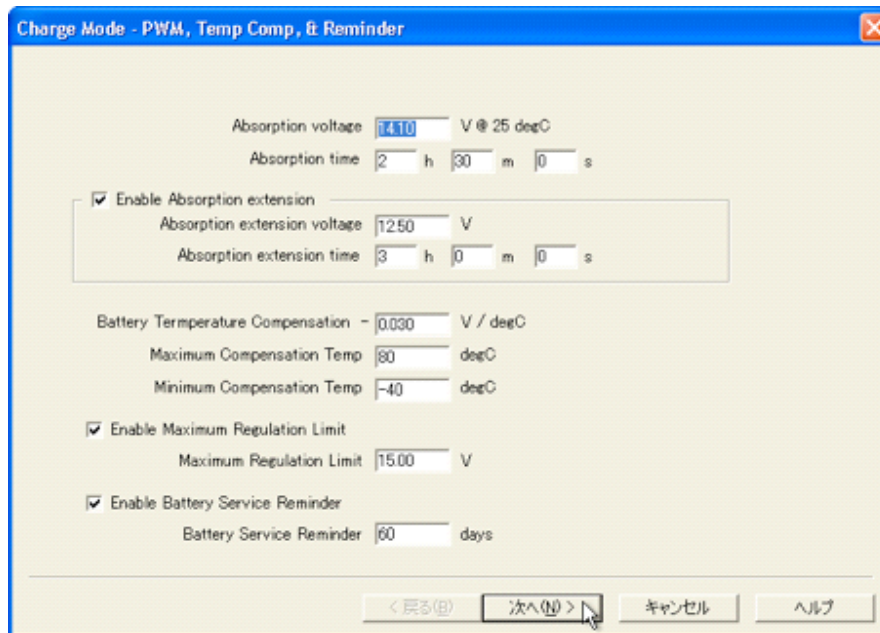
1 3. Custom Setpoints Summary ウィンドが表示されます。

Edit ボタンをクリックします。



Setup Wizard の使用 2

- 1 4. 設定項目の画面に切り替わります。
必要に応じ値を設定し 次へ をクリックします。



- 1 5. 数ページの画面が表示され最後に Summary に戻ります。
前の画面で設定した値が表示されます。
変更した値を機器のメモリへ書き込むことができます。

